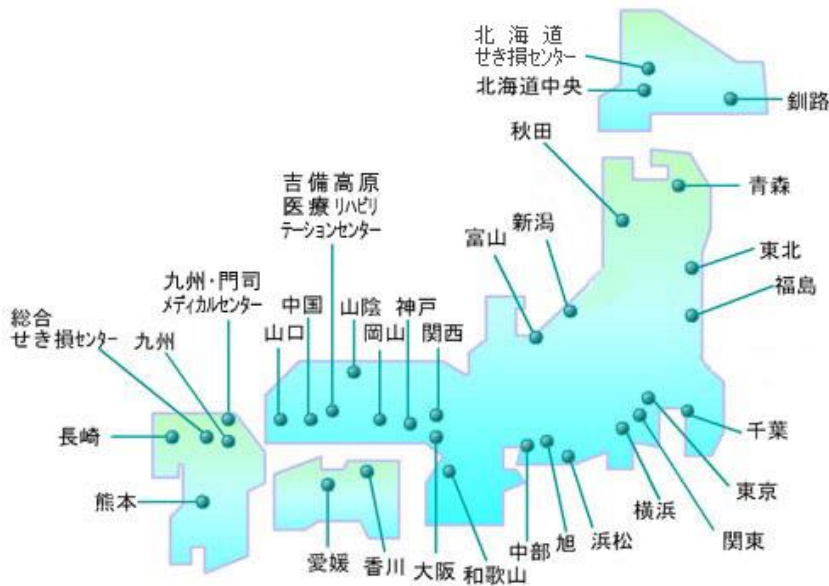


薬剤部長職場放浪記

第1回



部長：労災病院は労働者健康安全機構(Johas)に属する 32 施設からなるグループ病院だ。
特徴としては勤労者医療と地域に根差した一般医療を両輪としている。



労災病院サイト



薬剤部ホームページ

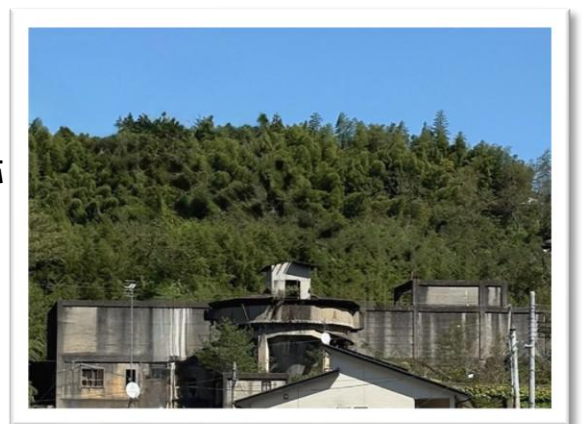
部長：長年勤めた浜松から管理職となり、関東、東京、愛媛、旭と渡り歩いたが、今年から福島、はてさてどんな職場かちょっと下調べしておくか！

部長：いわき医療センターに次ぐ病床数で、病院は増改築を控えて…、福島県がん診療連携推進病院んと、なるほど、なるほど。
薬剤部は、スタッフの年齢層は幅広くバランス取れてるなあ。
なんか楽しくなってきたぞ♪

部長：いわき市はどうだろう？

福島労災病院は、常磐炭鉱(現：常磐興産)と関連産業の労働災害に対応して設置されたと聞かすが、見る限り炭鉱の街と感じないなあ。資料館や廃坑跡に行ってみよ！
鉱山は閉山、炭鉱業自体も撤退してる。炭鉱産業の「栄枯盛衰」見てきた街なんだなあ。
なんか、「夏草や 兵どもが夢の跡」という芭蕉の句が頭に浮んだ。

つづく！



常磐炭鉱内郷鉱中央選炭工場跡